

## 最新の業界事情

### 音楽配信ビジネスは2011年には880億円市場に!

インターネットや携帯電話の普及は音楽業界のビジネスの仕組みや、個々のアーティストの音楽の発信の仕方を大きく変えつつある。音楽配信ビジネスは、業界の予測を超えた急成長を見せており、野村総合研究所の市場規模予測によると、2007年の406億円から、2011年には880億円にまで成長する見込み。また、アーティスト自身が、レコード会社も流通会社も経由せず、自分のホームページからオンラインでプロモーションするといったケースも出てきている。iPodの爆発的人気もあり、音楽をCDではなく、データで入手することが、今後さらに一般化していきそうだ。

この10年ほどのデジタル技術の急速な進歩は、音楽制作環境も大きく変えた。「Pro Tools」(プロツールズ)といわれる、パソコンで使用可能な音楽制作システムが普及。個々のミュージシャンや一般ユーザーまでもがかなり複雑なミキシング作業まで行えるようになった。音楽制作の裾野もどんどん広がっていきそうだ。

## デジタル技術の進化で市場も職種も大きく変化

「音楽」は高校生にとってもすごく身近な分野。クラブ活動や趣味で歌や楽器に親しんだり、聴き手として音楽を楽しんだりするなかで「将来は音楽業界で働きたい」と考えている高校生も多いのではないだろうか?そんな音楽業界にかかわる業種や仕事を紹介する。

撮影/徳田貴久 イラスト/藤井昌子

## 仕事ができる業界図鑑

# vol.13 音楽業界

## 音楽業界の業種&職種関連図

ミュージシャンや作曲家など音楽の制作に直接かかわる仕事以外にも、企画系、技術系、さらには教育関係まで音楽業界にはさまざまな会社、仕事がある。その広がりそれぞれのの中身を解説。

### その他の音楽関連の職種



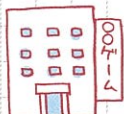
#### 音楽ライター

音楽を専門に扱う雑誌やWebサイトなどで、アーティストの取材記事や作品の批評記事などを書く仕事。音楽に関する深い知識が必要だ。

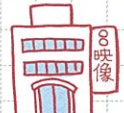


#### 音楽教員、スクール講師

演奏者として高い技術と音楽知識がある人には小中学校から、専門学校、音楽教室などでの指導者、教育者としてのニーズもある。



#### ゲーム会社



#### 映像制作会社

DTMのニーズは音楽業界にとどまらない。ゲーム制作や映像制作の現場でもニーズがあり、これらの会社で社員として働く道もある。



#### 楽器職人

楽器作りのプロ。大手メーカー社員として働くほか、小規模な工房で働く、独立するといった働き方も可能。楽器作りが学べる専門学校もある。



#### デジタルサウンドクリエイター

DTM(デスクトップミュージック)の発達、普及で増えてきたのがこの職種。主にコンピュータを駆使して音楽を作るデジタル時代の音楽職人だ。



#### 楽器メーカー

ギターやピアノ、ドラムなどさまざまな楽器を製作して販売する会社。楽器作りには高度で繊細な技術が求められるため、この分野は老舗メーカーが強い。

### 曲制作

作曲家、作詞家、編曲家(アレンジャー)の共同作業で曲が作られる。音楽ディレクターが、楽曲ごと、アルバムごとにフリーの作曲家、作詞家、編曲家を指名することが多い。シンガーソングライターのように独りですべてを行う人も。



#### 作曲家

曲を作るプロ。いいメロディーを作る才能やセンスが求められる仕事だ。ミュージシャンが兼ねる場合も多い。作曲者の印税は通常売上げ全体の約1.5%。

#### 作詞家

歌詞を作るプロ。言葉と音楽の両方に関するセンスが必要。専業作詞家も多いが、ミュージシャン自身や小説家などが兼ねることも。印税は作曲家と同様。

#### 編曲家

アレンジャーともいう。ディレクターらと相談しながら曲の演奏スタイルなどを決める仕事。ミュージシャンや作曲家が兼ねる場合も。通常、印税収入はない。



#### 歌手・ミュージシャン

#### 才能やセンスが命!の音楽業界の主角

音楽業界の主角はやっぱり歌手やミュージシャン。才能やセンス、キャラクター勝負の厳しい世界だが、成功すれば華やかな舞台で活躍できる。また、スタジオミュージシャンやバックコーラスとして働く道もある。なり方はさまざま。レコード会社のオーディションを受ける、デモテープを送るといった方法もあれば、スカウトされるケースもある。最近ではインディーズで10万枚以上売り上げるアーティストも。

ライブ活動

マネジメント



#### マネージャー

歌手やミュージシャンは芸能プロダクションや音楽事務所に所属し、そこが芸能活動や報酬の管理を行う。これらの仕事を担当するのがマネージャーだ。

### レコーディング

事前の打ち合わせでアルバムや曲のコンセプトを決め、曲ができあがったらレコーディングスタジオでレコーディングに入る。レコーディングエンジニアの腕の見せ所だ。いったんレコーディングに入ると、数週間スタジオにこもりっきりになることも多い。

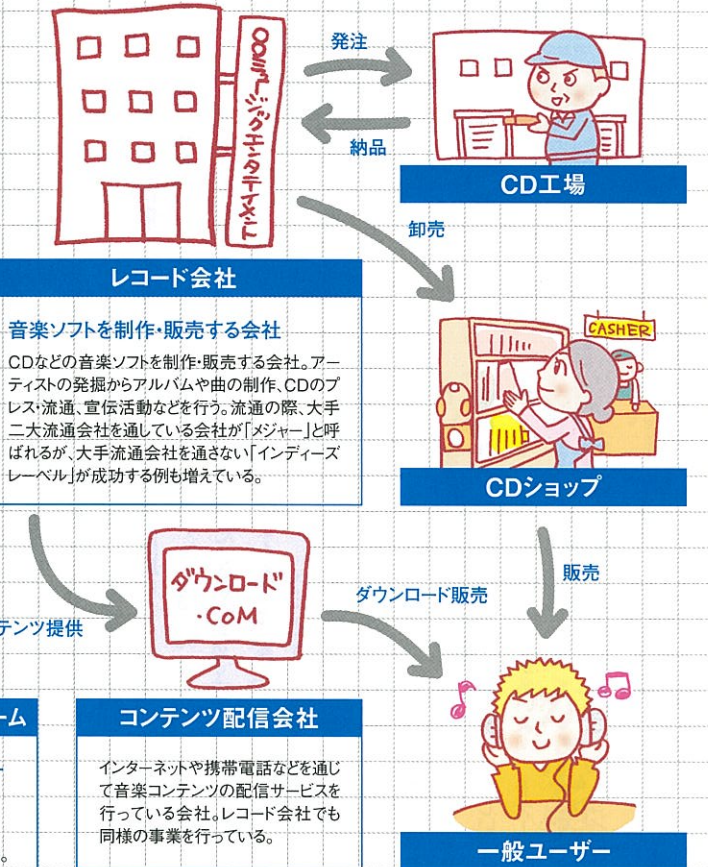


#### レコーディングエンジニア

レコーディングの際、各パートの音響や音量の調整を行う技術者。ミキサーともいわれる。スタジオに所属しているエンジニアも多いが、フリーでの活躍も可能。

#### レコーディングスタジオ

レコーディングを行うスタジオ。レコード会社が所有している場合もある。エンジニア志望者はスタジオに所属し、アシスタントから始めるケースが多い。



### レコード会社で活躍する職種

#### 音楽プロデューサー

アルバム制作やアーティストのプロモーション戦略に関する企画を立て、全体の指揮をとる責任者。レコード会社所属のほか、フリーのプロデューサーもいる。



#### 音楽ディレクター

音楽制作の現場監督。プロデューサーの意向を受け、ミュージシャンや作曲家、編曲家らと話し合いながら指揮をとり、企画に沿った音作りをしていく。



#### 宣伝担当

担当アーティストの宣伝戦略の企画やWeb、出版、テレビなどメディアへの働きかけ、広告制作の管理や取材の仕切りなど幅広い仕事をこなす。

### ライブ

作品制作と並ぶ歌手やミュージシャンの活躍の場がライブ。ホールやスタジアムなどの大きな会場で行われるライブでは、舞台装置、音響、照明などに多くのスタッフがかかわる。ライブハウスなどの場合は、ライブハウスのスタッフが音響、照明などを担当する。



#### コンサートスタッフ

ライブでは、舞台制作やPA(音響担当)、照明などの専門職がコンサートスタッフとしてかかわる。イベント会社、PA会社等の社員のほか、契約社員、派遣社員、フリーで働いている人も多い。

#### イベント会社

ライブの円滑な運営、進行を支えるのがイベント会社。エンターテインメント系のイベントを中心に扱うイベント会社では、企画段階からかかわり、スタッフの手配や管理、会場の準備、イベント当日の進行管理まで行う。